

洲本警察署



令和5年管内の交通情勢

洲本市内の人身交通事故の特徴として、追突事故と交差点の出会い頭事故が全体の半数を占め、又、洲本市民が買い物や送迎・訪問、出勤途中等で運転中の事故が5割以上を占めており、電車もなくバスも少ないという公共交通機関の乏しい淡路島島内の環境事情が如実に表れています。

更に、発生場所の分布から洲本市内の中心地を管轄する宇山・内町・外通交番及び3交番に隣接する内膳・大野駐在所管内で全体の約8割を占めており、その他の8交番駐在所と比較して上記の淡路島の環境事情を更に浮き出させています。

自転車啓発地区（洲本警察署管内）



市民が多く利用するイオン洲本店付近の塩屋1丁目交差点を重点地区に指定して啓発活動を行っています

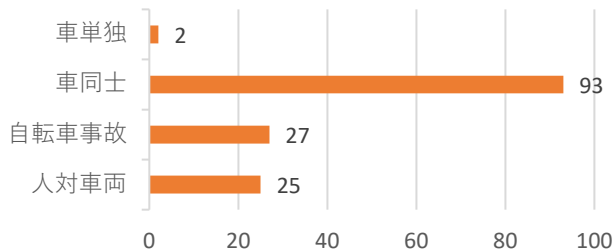
塩屋1丁目
交差点

イオン
洲本店

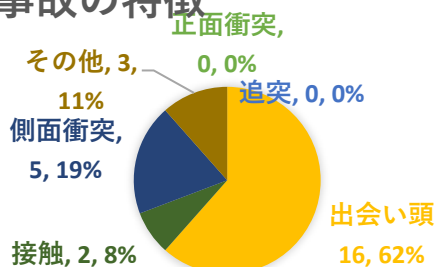
洲本市役所

洲本警察署

事故車両別



自転車事故の特徴



管内の交通事故発生状況

車同士の事故が大多数を占めていますが、自転車・歩行者の事故も相当発生しており、その特徴として、自転車・歩行者側にも事故防止に対する意識の希薄さが見受けられます。

出会い頭事故が約62%を占めています。

交差点では徐行と確実な安全確認を行い「他の車が来ているかも知れない。」といった運転を心掛けましょう。

交差点では『かも知れない運転』を心掛けましょう！

